

果てしない砂山を
— 人の手で治める —

飛砂に挑んだ

先人たち

— 庄内砂丘植林の歴史 —

令和2年

11月21日

令和3年

2月14日

日



曾根原六蔵西浜植付之図 レプリカ(部分) / 遊佐町教育委員会蔵



家の前で砂をかき出す住人。屋根にも砂が積もっている。
(昭和36年、浜中)

酒田市立資料館

〒998-0046
山形県酒田市一番町8-16
電話 0234-24-6544
@sakata-city-museum
@city.sakata.yamagata.jp



関連企画

● 調査員による展示解説

日時 12月5日(土) 午前10時～(1時間程度)
場所 酒田市立資料館1階企画展示室
定員 20人
料金 無料(入館料別途必要)

● 講座 『飛砂に挑んだ先人たち—砂に埋もれた地上の星—』

日時 12月12日(土)
午前9時30分～受付
午前10時～11時30分
場所 酒田市総合文化センター401号室
定員 35人
講師 梅津勘一氏
(庄内海岸のクロマツ林をたたえる会・樹木医・松保護士)
料金 無料
いずれも11月21日(土)から受け付け

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 一般200円 高校生90円
小中学生50円(小中学生は土日無料)

休館日 11月は無休、12月～2月の月曜日(祝日の場合は翌日)

12月29日(火)～令和3年1月3日(日)は年末年始休館

飛砂に挑んだ 先人たち

—庄内砂丘植林の歴史—



庄内海岸打払絵図(天保13年写)部分／鶴岡市郷土資料館蔵
宮野浦、十里塚、浜中の村が砂山の中に描かれている。



一人一人砂箱を背負い、砂を捨てに行く
(昭和期、浜中)／浜中民具資料館提供

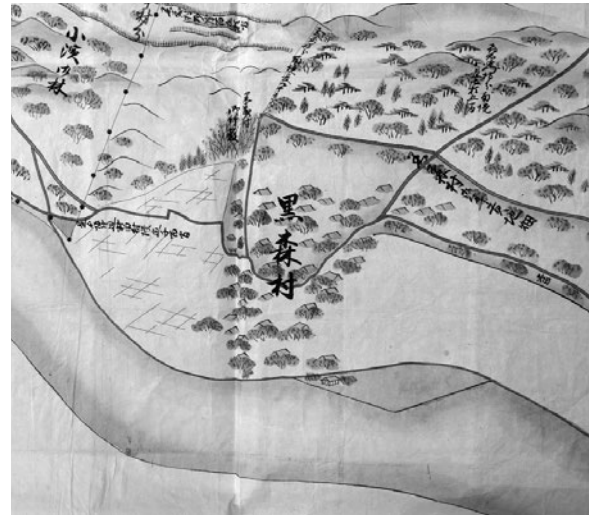
庄内地方は海岸部に広がる砂防林によって飛砂から守られています。砂防林ができる前の酒田の沿岸は、ひとたび風が吹くと家や畑があつという間に砂に埋まり、土地は痩せ、水路が埋まればそのたびに掘り起こしを余儀なくされました。

本企画展では砂害を食い止めるべく果てしない砂山に立ち向かい、現在の広大な松林を形成した先人たちの取り組みを振り返ります。

日本育児院七窪分院長・五十嵐喜廣氏が浜中でのメロン栽培に成功したと記録が残る年から90年になる今年、砂防林の後背地で行われている庄内砂丘メロン栽培の歴史についても紹介します。

植林成功の背景には、先覚者として有名な本間光丘はもちろん、酒田から藤崎地区(遊佐町)に移住し植林を行った佐藤藤左衛門・藤蔵父子や、藤蔵の甥で同じく移住して菅里地区の植林を行った曾根原六蔵、川南地区全域の植林を指導した庄内藩の植付役・佐藤太郎右衛門など多くの先人たちの苦勞がありました。そして砂防林を守る取り組みは藩政時代に終わらず、昭和、平成、現在まで続けられています。

この展示を通して、いつも何気なく眺めている砂防林の物語に思いをはせていただければ幸いです。



西郷地区絵図(江戸期)黒森部分／個人蔵
宝暦以降の川南を描いた幅54.0cm×縦19.0cmの大型絵図。砂丘地に植林が進められていることが分かる。



家の中で傘をさして食事。
砂は室内へも侵入してくる。
(昭和36年、浜中)



現在行われている松くい虫被害木のくん蒸作業。
被害があった木は伐採し、くん蒸や破碎を行って松くい虫を駆除する。

／林野庁東北森林管理局庄内森林管理署提供

展示協力(50音順)

梅津勘一氏、酒田市農政課、酒田市立光丘文庫、社会福祉法人思恩会、杉原丈夫氏、曾根原東氏、鶴岡市郷土資料館、東北公益文科大学図書館、浜中民具資料館、広岡新田自治会、(公財)本間美術館、山形県庄内総合支庁産業経済部酒田農業技術普及課、山形県庄内総合支庁産業経済部森林整備課、山形県庄内総合支庁産地研究室、遊佐町、遊佐町教育委員会、林野庁東北森林管理局庄内森林管理署

酒田市立資料館

〒998-0046
山形県酒田市一番町8-16
電話 0234-24-6544
Mail sakata-city-museum
@city.sakata.yamagata.jp



酒田駅から車で5分、大通り緑地裏手にあります。

次回企画展予告

雛と
鶺鴒川人形(仮)

令和3年
2月20日(土)
～4月5日(月)